

2024年3月14日

報道関係各位

伊藤忠テクノソリューションズ株式会社

宇陀市と CTC、3D バーチャル地図ソリューションの実証実験を開始 観光客の誘致、現地訪問客の満足度向上を目指す

宇陀市(市長:金剛一智)と伊藤忠テクノソリューションズ株式会社(代表取締役社長:柘植一郎、略称:CTC)は、CTCが開発した3Dのバーチャル地図ソリューション「CLOVMap(クローブマップ)」を利用して、宇陀市の観光情報の提供サービスについての実証実験を3月15日から開始します。宇陀市を3D化した地図上でAIによる観光スポットのレコメンドを実施し、現地に訪れる観光客の周遊を促すとともに満足度向上を図ります。

宇陀市は、奈良県の北東部にあり、豊かな自然に恵まれています。特に桜が有名で毎年多くの観光客が訪れていますが、桜の名所から市内の他の観光スポットへの誘導を課題としていました。

今回の実証実験では、宇陀市を3D化した地図の中で大宇陀地区の観光スポットを表示し、入力情報に基づき観光客にレコメンド(他のスポットへの周遊提案)を行います。3D表示のため山や建造物などを立体的に確認することができ、観光スポット周辺の店舗なども把握することができます。

入力情報は、観光客の本人の性別、年齢、同行者、天候、レトロな/活気のある/おしゃれな等の雰囲気、交通手段、名所めぐり/温泉/聖地巡礼等の希望といったもので、宇陀市のマスコットキャラクター「ウッピー」がAIアバターとして地図上に登場し、お勧めのスポットを案内します。観光スポットにある二次元コードを読み込むことで、そのスポットの情報を参照できます。Webサービスのためブラウザベースでの利用です。

CTCは、持続可能な地方創生を目的に「ふるさと共創イニシアティブ CLOV(クローブ、CTC Local Vitalization)」というプロジェクトを進めています。「CLOVMap」はその一環で、地図サービスの提供に加え、観光施設や飲食店などへの支援、二次元コードの設置場所のアドバイスも担います。

宇陀市とCTCは、今回の実証実験を通して、宇陀市での地域課題の解決につながるDXを相互に協力して推進していくとともに、CTCは、様々な課題に対応する観光客の誘致や満足度向上に関連した施策を探り、全国の自治体でも通用するビジネスモデルの創出に努めていきます。

■実証実験の概要

目 的:実証実験実施地内での周遊観光情報の補捉

実施期間:2024年3月15日(金)から2024年6月30日(日)

場 所:奈良県宇陀市大字陀地域内

内 容:

- ① 各スポットの訪問数の可視化
- ② ノベルティ取得で周遊人数の把握
- ③ アンケートによる意見の収集

U R L:<https://clovmap.web.app/uda/?launchedBy=3>



CLoVMap 画面イメージ

- ※ 記載されている商品名などの固有名詞は、各社の商標または登録商標です。
- ※ 掲載されている情報は、発表日現在の情報です。最新の情報と異なる場合がありますのでご了承ください。

以上

<報道機関からのお問い合わせ先>
伊藤忠テクノソリューションズ株式会社
広報部
E-mail:press@ctc-g.co.jp